長野県知事選挙の結果について

日本共産党池田支部

8月10日投票で実施された長野県知事選挙では、日本共産党が推薦した「明るい県政をつくる県民の会」代表の野口しゅんぼう候補は、10万6120票（14．27％）を獲得しましたが、残念ながら勝利することは出来ませんでした。池田町の得票は664票（13．97％）でした。

今回の知事選挙は、自民党を主軸とした「7党連合」（自民・公明・民主・維新・社民・ゆいの党・次世代の党）の推薦を受けた現職知事と日本共産党推薦の野口候補とのたたかいとなりました。

私たちは、国政での阿倍暴走政治に審判を下し、県民の命と暮らし第一の県政に転換する選挙として、国政も県政も政治の流れを変えようと訴えました。

とくに「集団的自衛権反対」「知事が替われば子どもの医療費の窓口無料化は実現できる」との訴えは多くの共感を得ました。このことを力に今後も運動を進めて行きます。

自民主導の「7党連合」の県政が誕生しましたが、政策で一致していない連合ですので、県民の願いとの矛盾を深めざるを得ないでしょう。

私たちは今後も皆さんの要求に基づいた共同を広げ、福祉・子育ての充実など掲げた公約実現のために努力し、来年の町議選で現職2名の当選を目指して頑張ります。

シリーズ 自民党の憲法改悪案（その15）

拡がる閣議決定反対の声

多くの国民が、総ての弁護士会が、地方紙の圧倒的多数が・・

安倍政権が、憲法9条を踏みにじって集団的自衛権行使を閣議決定したことに、通信社・新聞社の世論調査は内閣支持率が低下し続け、集団的自衛権行使容認にも反対が過半数から60％と広がっています。反対決議を採択し意見書を政府に送った地方議会は約200を数えています。中央紙も朝日・毎日が、地方紙では43紙中40紙が反対の社説を掲げましたし、全国に52ある弁護士会のすべてが反対を表明、その会長がこぞって東京でパレードしました。

被爆者が首相に直訴

8月は、ヒロシマ・ナガサキそして敗戦の月です。広島市主催の平和記念式典の平和宣言で松井市長が「日本国憲法の平和主義の下で69年間、戦争しなかった事実を重く受け止める必要が」と述べ、長崎市主催平和式典では田上市長は「長崎はノーモア・ナガサキとともにノーモア・ウオーと叫び続けた。憲法に込められた戦争しないとの誓いは被爆国日本、長崎の原点。その平和の原点が揺らいでいるとの不安、懸念の声が…、政府はこの声に真摯に向き合い、耳を傾けることを強く望む」と宣言しました。

式典後、安倍首相と会見した両市の被爆者代表は、「集団的自衛権行使の閣議決定撤回を」「集団的自衛権行使を絶対反対」を主張、これにたいし安倍首相は、「国民の命と平和な暮らしを守るため」と、言い放つだけでした。

広島 原爆ドーム

新連載 第1回

続・東海道中膝栗毛 池田編

山本 伸一

みなさんご存じでしたでしょうか。江戸時代あの『十返舎一九』がこの池田にきたことを。

『東海道中膝栗毛』その内容はしらなくても弥次郎兵衛、喜多八の繰り広げる滑稽本としてその名を知らない人はないでしょう。

この本の大当たりが彼の作家活動を支えたようです。

『十返舎一九』（1765～1831）は江戸中期以降にその名が知られ、我が国ではじめて原稿料をもらって作家活動をした「職業作家」であったそうです。

さてその『一九』が池田の地を訪れ、咄をつくっていたことを知って大変驚きました。これをみなさんに紹介したくペンをとりました。

池田の記述があるのは、『東海道中膝栗毛』の後に発行された『続・東海道中膝栗毛』（八編下巻）、塩尻本山から松本、保高（穂高）、池田、大町に至る滑稽本の中です。

十辺舎一九肖像

東京大学文学部
国文学研究室蔵

因みに九編は、大町から信州新町を経て善光寺に至る咄になります。

いわゆる紀行文ではなく遍歴小説のようで、彼が持ち合わせているネタを訪れた地での咄として書き上げたようです。

池田での咄も、とても信じがたいようなおもしろおかしいものですが、池田という名を日本全国に広めたものとして非常に貴重な本だと思います。

原文は『江戸時代の信州紀行集』（矢羽勝幸編）ですが、当時の仮名使いで読みにくく理解しにくい部分もありましたので、なんの素養もない私で僭越ですが勝手に現代風に書き換えて紹介します。

おもしろさが損なわれた感もありますので興味のある方は是非原文をお読みください。

本は池田町図書館にあります。

今回は紹介だけで次回より連載させていただきます。

次号をお楽しみに！

聞いて！聞いて！ 読者のひろば

「北アルプス市民劇場」に入会しませんか

「北アルプス市民劇場」をご存じですか。

会員が月2000円の会費を納め、年4～5回の演劇を楽しんでいます。

また、年1回運営サークルになり、準備をします。当日の大道具、小道具の搬入、受付や会場係等々を担当します。観るだけでなく舞台の事や裏方の仕事を経験できます。

ぜひ皆さんも会員になって、大町でお芝居を観られる「北アルプス市民劇場」に入会しませんか。

9月26日（金）には永六輔がいずみたくと初めて創ったオリジナルミュージカル「見上げてごらん夜の星を」があります。

お問い合わせは山本まき子まで

62-7660（tel）

花見 山本まき子

戦争より異常気象対策を

この夏、前例のない広島や高知など時間雨量最高130ミリを超す集中豪雨が多くの命を奪いました。県内でも聞くことの無かった竜巻情報が…。

地球の温暖化、異常気象が私たちを襲います。

メディアは原因を気象や地形、地質などが原因とし、安倍首相はその犠牲者を悼み被災者への救援を言いますが、それは政府として当然で、この未曾有の真の原因をメディアも政府も言いません。

あきらかに野放しされた経済活動の結果、つまり資本主義の政策が生み出した災害です。

憲法を踏みにじってまで戦争する国へは誰も望んでいません。国民が望む異常気象から国民の命を守る真の対策、温暖化現象阻止に向け国際社会に訴えかける努力を一日も早くすすめるべきです。

米沢 敏夫